

第5次

八女市 総合計画

後期基本計画（令和8年度～令和12年度）
〔第3期八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略〕



市長のあいさつ



八女市の未来を みんなでつくろう

このたび、八女市の未来のための新しい計画「第5次八女市総合計画後期基本計画」ができました。これは令和8年度から5年間のまちづくりのあり方を示したもので、皆さんからの大切な意見をもとに作っています。

今、八女市は、人口が減っていくという大きな課題に直面しています。この課題を乗り越え、これからもずっと住み続けられるまちをつくるため、「8つの基本政策」を軸に取り組んでいきます。

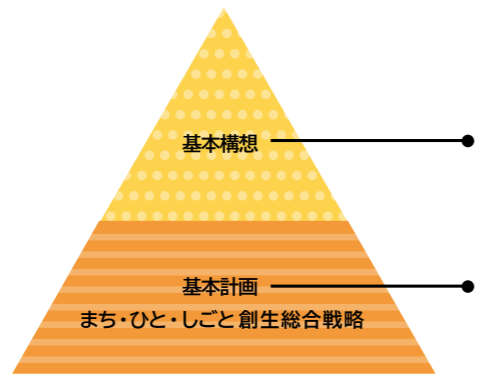
具体的には、若い人たちが働きたいと思える仕事を増やしてまちを元気にする「稼ぐ八女市」を目指します。また、子育てや健康をしっかり支え、誰もが「住みたいまち」になるように力を入れます。さらに、災害に強く、2050年までに地球環境にやさしい「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、豊かな自然を次の世代に残していきます。

まちづくりの主役は、市民の皆さん一人一人です。子どもたちからシニア世代まで、みんなで力を合わせてより良いまちをつくっていきましょう。

令和8(2026)年3月 簗原 悠太郎

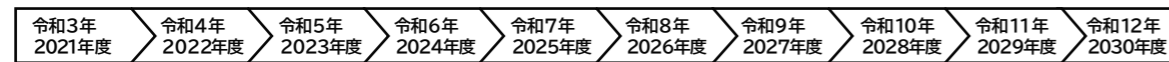
総合計画とは？

総合計画は、市と市民が目指す将来都市像を示し、その実現に向けた基本的な考え方や目標を総合的・体系的にまとめたものです。市の「最上位計画」として位置づけられるとともに、総合的かつ計画的な「市政運営の基本的な指針」となるものです。



本市が目指す将来都市像(ビジョン)を明らかにするとともに、その実現に向けた基本的な政策・方向性を示すものです。

基本構想に示された基本的な政策・方向性を踏まえ、施策ごとのビジョンと目標を明らかにするものです。計画期間は前期と後期に区分しそれぞれ5年間とします。



施策の体系

[将来都市像]

[基本政策]

[施策]

八女市の恵みと誇りを未来につなぐ
安心と成長のまち
八女

1 賑わいと利便性のある基盤づくり

2 強靱で安全な環境づくり

3 美しいふるさとづくり

4 活力ある産業づくり

5 安心して暮らせるしくみづくり

6 ふるさとを愛する人づくり

7 人権を尊重した共生のまちづくり

8 未来につなぐ協働のまちづくり

- 1-1 土地利用・市街地整備
- 1-2 道路・交通
- 1-3 住宅(移住・定住・住環境)
- 1-4 上水道

- 2-1 防災
- 2-2 防犯・交通安全

- 3-1 自然環境・生活環境
- 3-2 景観・公園・緑地
- 3-3 生活排水処理

- 4-1 農業
- 4-2 林業・水産業
- 4-3 商工業
- 4-4 伝統産業
- 4-5 観光
- 4-6 企業誘致・雇用

- 5-1 地域福祉
- 5-2 健康・医療
- 5-3 高齢者福祉
- 5-4 障がい者福祉
- 5-5 こども・子育て支援
- 5-6 社会保障

- 6-1 学校教育・人権教育
- 6-2 生涯学習・平和
- 6-3 歴史・文化
- 6-4 スポーツ

- 7-1 人権・男女共同参画
- 7-2 地域コミュニティ

- 8-1 都市間交流・国際交流(シティプロモーション)
- 8-2 協働・情報
- 8-3 行財政
- 8-4 広域行政

まちづくり ワークショップ

高校生から40代までの若い世代が地域の課題と向き合い、八女市の未来のために具体的な取組を共に描きました。



STEP1: 高校生の考える未来
地元の高校生に集まっていただき、これからの八女市について、高校生の自由でポジティブな発想を引き出しました。



STEP2: 市民と考える課題解決
公募で集まった市民の皆さんの社会経験や知識を活かして、リアルな課題から自分ごととしてできる1歩を皆さんと考えました。



STEP3: 市民と一緒に分析
ワークショップや市民アンケートで出た課題や意見やアイデアを、市民の皆さんと一緒に分析してまとめました。

01 にぎわい

季節を問わず、子どもからお年寄りまでみんなが楽しめるイベントや場所がたくさんあるまちになって欲しい！
(高校生)

02 安全安心

知らない人同士でも挨拶を交わしたり、災害の時には助け合う。そういう意識を大切にしたい。(10代)



自然環境

ごみのポイ捨てが無くなって、まち全体がもっときれいになると気持ちいい。(20代)



03

まちづくり

八女の本当の魅力は『人』。市民同士や市外の人との素敵な出会いや交流を、もっと増やしていきたい。
(20~40代ワークショップ)



市民の声で つくる未来

04

産業・仕事

子どもたちが『将来は八女で働きたい!』と思えるような、魅力的な仕事や職場が増えるといい。
(30代)

08

誰もがありのままの自分でいられる、一人ひとりの違いを認め合える社会であってほしい。
(40代)

07

尊重

06 学び文化

子どもたちが八女の歴史や文化を学び、ふるさとに誇りと愛着を持ってくれると嬉しい
(60代)



健康福祉

地域みんなで子どもを見守り、育てていける文化が根付いてほしい。
(40代)



05

Voices of the People, Our Future

~市民アンケートや八女市の未来を考える市民ワークショップで皆さんから寄せられたご意見~

1 賑わいと利便性のある基盤づくり

目指す姿



地域の特性を踏まえた土地利用や都市機能が整い、暮らしを支える道路交通と地域公共交通体系が発達し、移住定住しやすい環境が整備されています。また、将来にわたる安全な水道の供給を図ることで安心して長く住み続けられるまちとなります。



主な取り組み

公共交通体系の維持確保



将来における移動に関する不安を解消するため、乗合タクシー運行や路線バス運行支援のほか、デジタル技術を活用して利便性を向上します。

地域拠点・生活拠点の生活機能の維持

将来にわたって地域住民が安心して暮らせるように、地域拠点及び生活拠点を中心に生活機能（買い物、交通、病院、交流の場）を維持します。

二地域居住の推進



将来にわたって地域活力を維持するため、お試し移住体験、保育園留学、クラインガルテンなど人の流れの創出・拡大に取り組みます。

その他にも

- 移住定住を促進するための各種支援
- 空き家の活用
- 水道水の安定供給
- 最適な土地利用の推進
- 道路や橋梁の整備

主な成果指標

● 住んでいる地域には暮らしに必要な機能（買い物・交通・病院・交流の場）が整っていると感じている市民の割合

54.5% ▶ 60.0%
(現状) (5年後目標)

● 公共交通に関する納得度

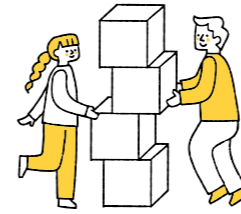
67.2% ▶ 75.0%

● 二地域居住者数（累計）

27人 ▶ 270人

2 強靱で安全な環境づくり

目指す姿



八女市の防災力が高まり、災害による被害の少ないまちとなります。また、犯罪や消費トラブル、交通事故が少ない安全なまちとなります。



主な取り組み

避難所の運営と備蓄品の整備

各避難所における備蓄品の適切な管理や更新を行っていきます。

- 流域治水・河川事業の推進
- 自主防災組織の活動推進
- 消費生活相談センターの設置

消防団活動の充実

地域防災の中核を担う消防団員の加入促進や組織体制・消防車両、資機材の強化を図ります。

- 防災士の育成
- 各家庭での災害時備えの取組推進
- 交通安全施設の整備
- 防犯灯設置補助金、防犯カメラ設置補助金交付事業の実施

主な成果指標

● 災害による負傷者数

0人 ▶ 0人
(現状) (5年後目標)

● 災害による死亡者数

0人 ▶ 0人

● 八女市は安全なまちと思う市民の割合

66.1% ▶ 70.0%

3 美しいふるさとづくり

目指す姿



環境に負荷をかけない持続可能なまちづくりと、適正な汚水処理による衛生的な水環境を保全します。公園や緑地でのふれあいや調和のとれた景観のある美しいふるさととなります。



主な取り組み

地球温暖化対策の推進

八女市では、ゼロカーボンシティ宣言を表明しており、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めます。

その他にも

- ごみの減量化リサイクルの推進
- 自然環境の保全

伝統的な建造物の保存、活用

伝統的建造物群保存地区の認知度向上と、店舗誘致や移住促進による活用を図り、賑わいを作ります。

- 公園・緑地等の維持と魅力の向上
- 合併処理浄化槽の普及促進
- 下水道への接続促進
- 災害に強い下水道の推進
- 農業集落排水処理施設の計画的な更新

主な成果指標

● 市域の温室効果ガス(CO2)排出量

44万6千t-CO2
▶ 37万2千t-CO2

● 八女市の公園・緑地、景観に対する納得度

86.6% ▶ 87.0%

● 汚水処理人口普及率

74.4% ▶ 80.3%

活力ある産業づくり

👍 目指す姿



高付加価値化や自然を活かした稼げる農林水産業の成長とともに、創業・承継や伝統技術の活用により商工業の振興を図ります。国内外から選ばれる観光地づくりや企業誘致を推進し、新たな雇用が生まれ地域経済が活性化するまちとなります。



主な取り組み

✔ 農作物の付加価値の向上



八女茶をはじめとする農作物をトップブランドとするために、国内外への販路開拓、ブランディングを取り組みます。

✔ 有害鳥獣対策の強化

農林業に深刻な被害をもたらしている有害鳥獣対策として、地域ぐるみの被害防止活動や捕獲・処分に係る負担軽減を図ります。



✔ 伝統工芸の魅力と価値の向上

伝統工芸技術を活用した現代ニーズに合う商品開発など新たな価値創出を支援します。



その他にも

- ☐ 農業担い手の育成・確保
- ☐ 荒廃農地の発生防止
- ☐ 中山間地域農業の振興
- ☐ 森林資源の持続的な整備・保全と活用の推進
- ☐ 木材等の安定供給体制の確立と需要拡大
- ☐ 荒廃竹林の拡大防止と森林資源利活用推進
- ☐ 地域商業や市街地の活性化
- ☐ 新たな事業、販路開拓の推進
- ☐ 中小企業DX支援事業の推進
- ☐ 事業継続力や事業承継のための支援
- ☐ ふるさと支援寄附事業（返礼品の充実）
- ☐ 伝統工芸の次世代への継承
- ☐ 魅力ある観光事業の推進
- ☐ 観光情報の発信
- ☐ 企業誘致の推進
- ☐ 求職環境の向上
- ☐ 企業の雇用確保に向けた支援

主な成果指標

●農産物販売高 **165億円** ▶ **165億円** (現状) (5年後目標)
 ●有害鳥獣による農林作物被害額 **8,413万円** ▶ **7,308万円**
 ●伝統工芸技術を活かした新しい商品等の売上高 **55万円** ▶ **175万円** (累計・組合開発分)

安心して暮らせるしくみづくり

👍 目指す姿



互いに支え合う優しい地域づくりと、心身の健康や持続的な社会保障の確保に取り組みます。高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境や子育て支援を充実させ、誰もが暮らし続けたいと思えるまちとなります。



主な取り組み

✔ 子育て不安・負担の軽減



各種預かり事業の実施のほか、子育てに関する情報や知識が得られる機会の創出・交流等により、不安や負担を軽減します。

✔ 介護予防の推進

健康寿命を延伸するために、運動や生きがい活動を支援し、通いの場（シニアクラブやふれあいサロン）の充実を図ります。



✔ 地域医療体制の充実

県や医師会、公立八女総合病院と連携し、市民が24時間安心できる地域医療体制を維持します。



その他にも

- ☐ 民生委員・児童委員、主任児童委員活動の啓発
- ☐ 重層的な支援対象者のプラン作成
- ☐ 支えあい活動の情報発信
- ☐ 小地域福祉活動の伴走支援
- ☐ 健康診査・がん検診受診率向上
- ☐ 特定保健指導実施率の向上
- ☐ 健康教室・健康相談の推進
- ☐ こころの健康づくりの推進
- ☐ 感染症への対応
- ☐ 地域包括支援センターの機能強化
- ☐ 地域ケア会議の推進
- ☐ 生活支援コーディネーターの活動の推進
- ☐ 効果的な介護予防普及啓発事業の実施
- ☐ 認知症予防事業の推進
- ☐ 地域生活拠点施設の制度整備
- ☐ 重度・強度行動障がい児等への支援体制推進
- ☐ 保育サービスの充実
- ☐ 国民健康保険制度の健全な運営
- ☐ 介護保険制度の健全な運営
- ☐ 生活保護受給者の就労支援
- ☐ 生活困窮者の自立支援

主な成果指標

●介護保険認定率(65~74歳の前期高齢者期間) **3.8%** ▶ **3.5%** (現状) (5年後目標)
 ●八女市は子育てしやすいと思う保護者の割合 **71.8%** ▶ **76.0%**
 ●要支援認定者の新規該当者平均年齢 **84.6歳** ▶ **85.0歳**

6 ふるさとを愛する人づくり

目指す姿



学校教育で子どもの生きる力を育むとともに、生涯を通じた学びや平和を尊重する社会を築きます。文化芸術やスポーツに親しむことで、心身の健康と生活の豊かさが生まれ、ふるさとへの愛着と誇りを持つ人が育つまちとなります。



主な取り組み

心と体の健康づくりの推進

児童・生徒の心と体の健康を確保するために、教育相談活動の充実を図ります。

教育環境の整備・充実

児童・生徒・教職員が、衛生的で快適な環境の中で、安全に学習したり働くために、学校施設の整備、ICT環境の充実など教育環境を整備します。

地域の伝統文化の保存・継承



伝統を担う人々の高齢化が課題となる中で、次世代に継承するために、無形民俗文化財の記録・保存を行います。

平和意識の普及高揚

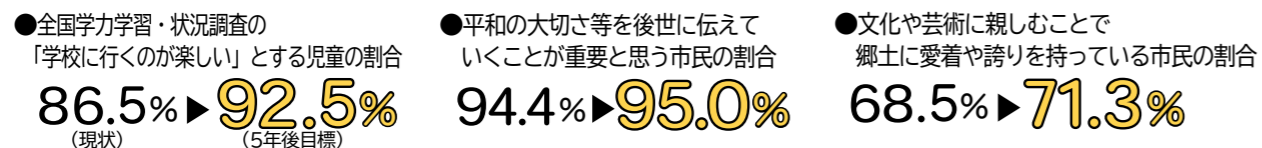


「平和の火」を灯し続ける八女市として、平和の大切さと戦争の非人道性を次世代に伝え、市民の平和意識の高揚を図ります。

その他にも

- 学力の向上
- 文化や芸術への参加・鑑賞の推進
- 人権に関する知的理解の深化と人権感覚を育む教育活動の推進
- 子どもが文化や芸術に触れる機会の充実
- 人権尊重の視点に立った学校づくりの推進
- 観光振興や地域振興等につなげる取組の推進
- 市民の学習機会の充実
- 文化財の保存活用の推進
- 家庭・地域・学校の連携と地域の教育力の向上
- スポーツ人口の増加
- 読書活動の推進
- スポーツイベントによる交流人口の拡大
- 青少年の健全育成・体験活動の推進
- スポーツ施設の充実と適正配置

主な成果指標



7 人権を尊重した共生のまちづくり

目指す姿



すべての市民の人権が尊重され、男女共同参画が推進されます。活気ある地域コミュニティを基盤とした持続可能な地域活動が行われます。

主な取り組み

ジェンダー平等の意識づくり

性別による固定的役割分担意識の改善など市民の意識啓発に取り組み、男女協働参画社会を推進します。

自主的で持続可能な行政区の運営

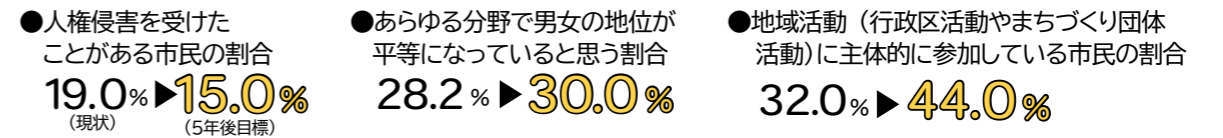
行政区が行う自主的な地域活動や持続可能な行政区運営のためのさまざまな支援を行います。



その他にも

- 人権に関する相談事業
- 困難な問題を抱える女性への支援
- まちづくり団体の維持・活性化
- 人権啓発事業の充実
- 自治会・町内会組織の強化

主な成果指標



8 未来につなぐ協働のまちづくり

目指す姿



都市間・国際交流や戦略的な情報発信により八女市の魅力を高め、市民が主役となる協働のまちづくりを進めます。また、健全で効率的な行財政運営と周辺地域との広域連携により、持続可能で質の高い行政サービスが提供されるまちとなります。

主な取り組み

市民との協働の推進

市民が主役となって活動できる持続可能なまちづくりを推進します。

シティプロモーションの推進

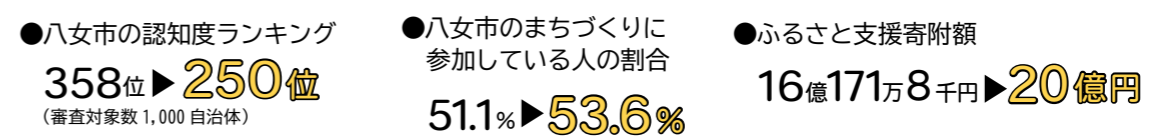
観光の発展や地域経済の活性化、移住・定住へつなげる八女市の魅力を効果的に発信します。



その他にも

- 行政手続きのオンライン化による市民サービス向上
- 持続可能な財政運営
- 国際・国内交流の推進
- 一部事務組合の安定運営

主な成果指標



数字で見る八女市



八女市は、福岡県の南部、福岡市から南へ約50kmに位置し、北は久留米市、広川町、うきは市、西は筑後市、みやま市、南は熊本県、東は大分県に接しています。八女市の面積は482.44km²で、県内では北九州市に次ぐ広大な面積を有し、森林が約65%を占めています。

○人口 (令和2(2020)年国勢調査データ)

60,608人



0~14歳

7,061人



15~64歳

31,340人



65歳以上

22,207人

○全国茶品評会「玉露の部」産地賞



令和7(2025)年

○あまおう生産量県内



令和6(2024)年福岡県農業統計調査

○訪日外国人滞在数 増加率ランキング

令和7(2025)年9月~11月 対前年比



(株)ナビタイムジャパン調べ

○産業別就業者 構成比

(令和2(2020)年国勢調査データ)



第1次産業

17.6%



第2次産業

21.7%



第3次産業

57.2%

○農家数

(令和2(2020)年農林業センサス)

2,340戸



○観光入込客数 (令和6(2024)年八女市統計)



203.7万人

○林業従事者数

(令和2(2020)年国勢調査)

176人

